

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
平成30年10月4日 提出

1. 視察概要

会派名	自民党おおさき市民会議、改新クラブ
視察者名	相澤孝弘(自民党おおさき市民会議)、早坂憂(自民党おおさき市民会議)、鹿野良太(改新クラブ)
視察日	平成30年9月5日
視察先	【午前】品川区立浅間台小学校、【午後】NPO 法人日本幼児教育振興會、防衛省(市ヶ谷)
出席者	【午前】品川区立浅間台小学校 林誠 校長、NPO 法人日本幼児教育振興會 佐藤公雄 常務理事 【午後】NPO 法人日本幼児教育振興會 浪岡實 理事長、佐藤公雄 常務理事、井出美樹恵 理事、山崎英彦 指導部インストラクター

2. 視察内容

視察項目	小学校低学年(1・2年生)におけるサントレ教育の実践について、防衛施設と防衛の歴史について
視察内容	<p><サントレ教育> 視察の目的 小学校児童を対象として「美しい言葉の教育ーサントレ教育」を実践している。その実践内容を確認すると共に児童の変化と取り組んだ結果について指導者から直接お話を賜り、大崎市の幼児・初等教育の展望を探り、今後の議会での議論の参考とする。</p> <p>1. サントレ教育の概要 NPO 法人 日本幼児教育振興會が提唱・実践する「無努力無負担」に習得できる特別な能力を持つ幼児期に、「漢字かな交じり」の美しい言葉、優しい言葉、尊い言葉を毎朝10分程度、日々惜しみなく与え、躰、敬う心、思いやる心、考えて話す力を養う幼児期における「言葉の教育」。 具体的には DVD・絵本・漢字カード(園児用・先生用)・朗読カードを用い、段階的なプログラムで構成されている。 DVD には絵本のアニメーションを始め様々なコンテンツがある。 ※DVD の収録内容の一例(内容は年齢や学年によって異なる) 挨拶…正しい発音で基本的な挨拶訓練 姿勢…正しい姿勢の練習 瞑想…美しい音楽を聴きながら、心を整える 読み聞かせ…お話の読み聞かせアニメーション なぞり読み…文字をなぞりながら音読の練習 漢字カード…お話に出てきた漢字をカードで覚える 漢字ゲーム…漢字カードが3段階の速さで出てくる 諺(ことわざ)…諺を朗読し、その意味を学ぶ 俳句…俳句を朗読し、季語や意味を学ぶ 童謡…童謡や詩を聞いて朗読する 歌…唱歌や童謡を視聴する 漢字の誕生…漢字の成り立ちを学ぶ</p> <p>DVD と併用して園児に配布される絵本と漢字カードを使ってどんどんステップアップ。先生用の漢字カードを使い独自ゲームなど、工夫次第で幅広い指導をすることも可能。毎日の保育や授業に合わせて先生がカリキュラム組むことが出来る</p> <p>2. NPO 法人日本幼児教育振興會の取り組み 漢字は、音を表すだけのひらがなと違って、一字で、意味をなす言葉。そのまま語彙の</p>

獲得となる優れた入力言語である。しかし、こうした漢字を交えた教育法は、従来教える先生にスキルや準備を要求し、普及しなかった。サントレでは、絵本やカードに先立ってDVDを導入。はじめにDVDで園児の興味を喚起、次第に先生との本来あるべきやりとりへ移行していく方式。同時に、お手本を示す先生の負担を減らし、目配りや園児と触れ合う機会を増大させた。

言葉の教材監修者は、お茶の間の人気番組「世界一受けたい授業」でおなじみの土屋秀宇（読書教育賞受賞、NPO 法人日本幼児教育振興会 副理事長）。正しい発音とイントネーションの美しい朗読は、元フジテレビアナウンサーの露木茂アナと八木亜希子アナが担当。姿勢を正し、心を整える「瞑想」音楽は、作曲家の三枝成彰氏が選曲、大友直人氏指揮東京交響楽団が演奏。絵本は、わたせせいぞう氏が監修。童謡歌唱は元NHKの歌のお姉さんで声楽家の岡崎裕美氏。

3-1. 品川区立浅間台小学校の取り組み

【学校概要】

- ① 開校年月日 大正9年11月28日
- ② 所在地 東京都品川区南品川6丁目8番8号
- ③ 児童数(平成30年4月1日現在)

学年	1	2	3	4	5	6	3組	計
男	17	13	14	14	12	16	9	95
女	15	14	10	7	10	15	1	72
計	32	27	24	21	22	31	10	167
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8

- ④ 職員数(教員)21名

⑤ 時程表

開門・登校完了	(開門)8:00・(登校完了)8:15	4時間目	11:35~12:20
朝会・集会・朝学習	8:20~8:35	給食	12:20~13:05
サントレ・読書タイム	8:35~8:45	昼休み	13:05~13:20
朝の会	8:45~8:50	清掃	13:20~13:35
1時間目	8:50~9:35	5時間目	13:35~14:20
2時間目	9:40~10:25	6時間目	14:25~15:10
休み時間	10:25~10:45	下校	15:20
3時間目	10:45~11:30		

【サントレ教育を実践】

浅間台小学校の林校長先生が前任校である品川区立三木小学校校長時代に隣接する保育園がサントレ教育を導入していた。品川区は待機児童多く、保育室が不足していた為、三木小学校の教室を間借り(分園)して年長クラスが保育を行っていた。教育委員会も(保育園と小学校は)所管は違うが、何か連携出来ないかという考えを持っており、サントレ教育の様子を毎日見ていた林先生がその効果を強く実感したことから、保育園との連携の一環としてサントレ教育の実施を教育委員会に願い出て、三木小学校で導入に至った。導入後、顕著な効果が認められ、保護者の評判も良かったことから、現在でも三木小学校では1年生から3年生までがサントレ教育を行っている。浅間台小学校でも導入して今年で6年目。現在は品川区の5つの小学校で導入されている。

浅間台小学校では1・2年生が朝の読書タイムを利用してサントレ教育を行っている。

(3~6年生は読書を行っている)

導入の理由として

- ① 1・2年生は朝学校に来て、心がまだ落ち着かないうちに読書に集中することが難しかったこと
- ② 年齢的に自律(自分をコントロール)できない児童に対して遊びとして取り組める「無努力無負担」のサントレ教育が効果的であること
- ③ 東京都は若い教諭の割合が多く、新しい指導方法に抵抗感が少ないこと

3-2. 取り組みの成果と課題について

サントレ教育は幼少期から漢字に触れる為、未就学児童も漢文をしっかり音読すること

ができる他、自律・規律も養われるため、長い時間正しい姿勢で座ることや、長い群読も呼吸を合わせて行うことが出来る。また漢字を覚えることで街中で目に付く漢字を楽しみながら反復学習する。

また、サントレ教育導入前は、浅間台小学校は学力検査で区内下位だったが導入後は区内でも上位の結果が続いている。(少人数学級が効果的とのこと)

さらには浅間台小学校は近隣の私立校の影響もあり、これまで生徒数の減少が続いていたが、近年は他校から転入が増え、転出はゼロ。結果として最近では生徒数も増えている。(10年前は70名程度の生徒数だった。現在は167名)

課題としてサントレ教育は学習指導要領に沿っていない内容の為、区内一斉の導入は難しく、校長の判断で実施するとしても朝の時間か昼の時間などに組み入れる必要がある。また、新しいことに挑戦することから、比較的年齢の高い教諭が積極的に取り組めない傾向が見受けられる。さらには教諭を指導する立場の管理職がやる気になり、忙しい現場の教諭に毎日継続して続けさせられることが出来るかが成功の鍵を握っているとのこと。

4. 視察後の大崎市における幼児・初等教育の展望

大崎市においても小中学校の学力問題や幼児教育の充実は大きな課題である。

このサントレ教育はこれまでの教育や学習方法に異論を唱えているものではなく、科学的アプローチからも証明されている「無努力無負担」で様々なものを習得することができる2歳から9歳半までの大変重要な且つ特殊な能力を持つ時期に、その後の学習の基礎となる「強い土台を作る」、教育であると認識する。

中でも印象に残ったのは「瞑想」の時間中に担当教諭は児童一人一人の背中や腰に触れながら(タッチング)骨盤の位置を確認し、正しい姿勢を取らせる。心が乱れている児童は姿勢を継続出来ない等、何かしらの“異変“があるという。その”異変“を愛情を持って触れることで教諭自身がしっかりと感じ、その日の指導に活かしているという。

科学的なアプローチと並行して、子供の発達には不可欠な“愛情”も取り入れ、コミュニケーションの基盤となる「言葉」を大切にするサントレ教育は今後益々注目を集めるのではないだろうか。

「土壌」がしっかりとっていないと大きな実が実らないのと同じように、幼少期に「土壌をしっかりと耕し、十分な肥料を蒔く」ことが必要で、これを正しく楽しく行うことで、無理のない自然な状態で自律や言葉を習得し、小学校高学年から中学校、高校、大学での様々な学習に最大限効果が出るよう準備しておくことが重要と考える。

現在、大崎市でも一部の保育園で実施されているが、その効果を検証し、公立幼稚園・小学校での導入も視野に入れ、市内児童・生徒の学力アップの施策として導入を検討していく必要があると報告する。

<防衛省視察>

日本の防衛における最重要施設である防衛省(市ヶ谷)を視察調査した。

政府の重要施設であるため、厳しいセキュリティを通過後、庁舎内の視察を行った。

国際情勢が日々変化していく中、日本の防衛を最前線で担っている職員の方々の、きびきびとした働きぶりに触れ、改めて防衛の重要性を認識し、大崎市議会としても市民の生命・財産及び国土をしっかりと守っていかなければならないと決意を新たにした。

市ヶ谷記念館の視察では、東京裁判が行われた大講堂や三島事件の舞台に足を踏み入れ、近代日本の歴史に直接接触することで、国政、地方政治の垣根を越えて日本のあるべき姿を考え、市政発展に活かしていくいい機会となった。

【報告者 鹿野良太(改新クラブ)】

他会派との
合同実施

あり(自民党おおさき市民会議)